

## 指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:平成29年度)

施設の名称	東京エレクトロンホール宮城
指定管理者の名称	宮城県民会館管理運営共同企業体
施設所管部課(室)	消費生活・文化課

## 1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘要
平成18年 4月 ~ 平成21年 3月	指定管理者	宮城県民会館管理運営共同企業体	
平成21年 4月 ~ 平成26年 3月	指定管理者	宮城県民会館管理運営共同企業体	
平成26年 4月 ~ 平成31年 3月	指定管理者	宮城県民会館管理運営共同企業体	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

## 2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	宮城県民会館管理運営共同企業体
	所在地	仙台市青葉区国分町三丁目3番7号
指 定 期 間	平成26年 4月 1日 ~ 平成31年 3月31日 (5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

## 3. 施設の概要【施設所管課記入】

施設の名称	東京エレクトロンホール宮城	
所在地	仙台市青葉区国分町三丁目3番7号	
設置年月	昭和39年10月	
根拠条例等	県民会館条例	
設置目的	県民が文化芸術を創造し、享受する場を提供することにより、文化芸術の総合的な交流及び文化芸術の振興を図り、もって県民生活の向上に寄与するため、設置したものである。	
施設の内容	敷地面積	3,627,96㎡
	構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地上6階地下1階
	内容	大ホール(座席1,590席)、楽屋(特別室を含む)、浴室、大・中・小会議室、和室、展示室、教養室、リハーサル室、奈落、機械室、ボイラー室、駐車場
開館(所)日	毎月第2水曜日及び年末年始(12月28日~翌年1月4日)を除く日	
開館(所)時間	午前9時 ~ 午後9時	
指定管理者が行う業務の範囲	1 施設全体の管理運営業務 2 施設の利用許可申請の受付及び許可並びに利用料金の徴収・収納業務 3 文化振興事務等の業務 4 舞台設備の操作・日常点検業務 5 施設全体の維持管理業務 6 その他施設の管理運営に関して、知事が必要と認める業務	
利用料金制	採用の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	利用料金の名称	利用料金

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成29年度) (A)	前 年 度 (平成28年度) (B)	評価対象年度 (平成29年度) (C)		
大ホール開館(所)日数	281 日	199 日	220 日	78.3%	110.6%
会議室開館(所)日数	316 日	160 日	188 日	59.5%	117.5%
ミーティング・カルチャールーム開館(所)日数	316 日	136 日	142 日	44.9%	104.4%
延べ利用者数	461,900 人	404,799 人	459,273 人	99.4%	113.5%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成29年度) (A)	前 年 度 (平成28年度) (B)	評価対象年度 (平成29年度) (C)		
大ホール	240,000 人	216,255 人	270,315 人	112.6%	125.0%
会議室	220,000 人	186,782 人	187,384 人	85.2%	100.3%
ミーティング・カルチャールーム	1,900 人	1,762 人	1,574 人	82.8%	89.3%
合 計	461,900 人	404,799 人	459,273 人	99.4%	113.5%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成29年度) (A)	前 年 度 (平成28年度) (B)	評価対象年度 (平成29年度) (C)		
県指定管理料	131,989	144,267	131,989	100.0%	91.5%
利用料金収入	110,920	95,969	110,347	99.5%	115.0%
文化振興事業収入	28,946	42,045	29,960	103.5%	71.3%
受託事業収入	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
補助金等収入	5,695	6,598	5,614	98.6%	85.1%
その他	1,061	1,244	1,208	113.9%	97.1%
収入計 (a)	278,611	290,123	279,118	100.2%	96.2%

(2) 支出

人件費	163,855	155,959	162,890	99.4%	104.4%
施設管理費	93,610	89,010	88,897	95.0%	99.9%
事業運営費	45,832	60,378	45,140	98.5%	74.8%
その他	3,058	4,245	3,185	104.2%	75.0%
支出計 (b)	306,355	309,592	300,112	98.0%	96.9%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	-27,744	-19,470	-20,994	75.7%	107.8%
前期繰越収支差額	-32,441	-12,971	-32,441	100.0%	250.1%
次期繰越収支差額	-60,185	-32,441	-53,434	88.8%	164.7%

※千円未満端数調整

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

6. 評価対象年度(平成29年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】		
				評価		評価	
①管理運営体制	<p>宮城県民会館の管理運営を(公財)宮城県文化振興財団、(株)東北共立、陽光ビルサービス(株)の三者により共同企業体を構成し運営している。</p> <p>○(公財)宮城県文化振興財団…施設の使用許可申請の受付、許可及び利用料金の徴収・収納、文化振興事業のほか会館の管理運営全般 理事長1人、総務管理課5人、企画事業課10人(正規8人、非正規8人)</p> <p>研修会等 OJT実施のほか公文協主催業務管理研究会やアートマネジメント研修会に参加した。</p> <p>○(株)東北共立…舞台設備の操作、日常点検業務等舞台機構維持管理業務全般 舞台課6人(正規6人)</p> <p>研修会等 OJT実施のほか公文協主催舞台技術職員研修会、舞台ワークショップに参加した。</p> <p>○陽光ビルサービス(株)…施設の日常清掃、機械保安及び警備業務のほか会館の維持管理全般 維持課17人(正規6人、非正規11人)</p> <p>研修会等 OJTのほか危険物取扱講習、高圧ガス保安講習等の法定講習会等に参加した。</p>		<p>共同企業体の各構成員がその専門とする分野について業務を分掌し、月1回会館課長会議を開催し、業務上必要な情報共有と、管理運営についての意見交換を行っているほか、年2回三者企業体運営委員会を開催するなど、相互に密接に連携しながら、円滑に事業を実施しており、計画どおり所期の目的を達成し、安定した会館運営を行っている。</p>		A	<p>共同企業体は、各分野に精通する者によって構成され、専門業務を分掌しており、また、相互の連携を保つため、情報共有や意見交換の機会を設けているなど、適正な管理運営体制であると認められる。</p>	A
人員体制	正規	20人	非正規	19人			
②施設・設備の維持管理業務の実施	<p>1 施設維持管理</p> <p>①維持管理清掃業務</p> <p>②機械警備業務</p> <p>2 設備保守点検</p> <p>①昇降機保守点検</p> <p>②電話交換設備保守点検</p> <p>③舞台機構保守点検</p> <p>④音響設備保守点検</p> <p>⑤舞台照明機器保守点検</p> <p>⑥自動火災報知設備保守点検</p> <p>⑦誘導灯・消火器具等保守点検</p> <p>⑧非常放送設備保守点検</p> <p>⑨電気室高圧盤電気等保守点検</p> <p>⑩空調関係設備保守点検</p> <p>⑪会議室AV機器保守点検</p> <p>⑫駐車場設備保守点検</p> <p>⑬自動扉閉閉装置保守点検</p> <p>⑭シャッター設備保守点検</p> <p>⑮ボイラー性能検査受検</p> <p>⑯ピアノ保守業務</p> <p>⑰冷却水配管洗浄業務</p>		<p>共同企業体の各構成員がそれぞれ連携を密に定期的に保守・点検などを実施し、老朽化した施設・設備の延命に努めている。</p> <p>また、不良箇所の修繕等にあたっては、優先順位を付するなど随時的確に対応し、共同企業体で対応できないものについては外部発注するなどにより、安全かつ安定した維持管理を行っている。</p>		A	<p>共同企業体は、それぞれの専門分野に応じて維持管理業務を分掌し、施設・設備の延命を図るため、緊密に連携して対応している。また、より専門性の高い業務については、的確に外部委託することで、安定した維持管理を行っていると認められる。</p> <p>なお、県有建築物保全点検で指摘されている「要計画修繕」項目については、現有設備の点検及び維持管理に努めながら、早急に修繕計画を作成する必要がある。</p>	A
③運營業務(ソフト事業等)の実施	<p>1 震災復興プログラム 2事業</p> <p>①避難訓練コンサート 298人</p> <p>②被災地管楽器クリニック 319人</p> <p>2 人材育成プログラム 5事業</p> <p>①コンドルズ遊育計画 1,033人</p> <p>②みやぎアートファミリアの日 551人</p> <p>ほか</p> <p>3 地域・大学連携プログラム 10事業</p> <p>①みやぎ心の復興ジュニアジャズミーティングinみやぎ 2,755人</p> <p>②定禅寺ストリートジャズフェスティバル連携ジャズコンサート 858人</p> <p>ほか</p> <p>4 鑑賞事業等 6事業</p> <p>①市川海老蔵特別公演「源氏物語」 3,036人</p> <p>②松竹大歌舞伎公演 1,973人</p> <p>上記のほか、各種文化団体の育成(助成金)等を実施した。</p>		<p>今年度は指定管理3期目の4年度目として、前年度に引き続き、①震災復興②人材育成③地域・大学連携の3つを基本方針にした文化振興事業を展開した。</p> <p>おおむね事業計画どおりの成果と実績であり、当会館の指定管理者としての目的である多様な文化振興事業を幅広く実施することができた。</p> <p>収支については、文化振興事業収入・事業運営費支出とも前年を下回ったが、これは赤字額節減のために事業本数を減少させたことによるものである。</p>		A	<p>指定管理の基本方針である3つのテーマに沿った事業を展開しており、赤字額節減を図るなど、概ね計画に沿った事業を行っていると認められる。</p>	A
④自主事業の実施	-		-				

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑤利用者サービスの向上	<p>1 文化振興事業におけるサービス向上</p> <p>○ ③に記載したように各種プログラムに沿った文化振興事業を展開することで、利用者にさらに満足していただける文化事業を目指している。</p> <p>2 貸館事業</p> <p>○ 会館使用にあたり使用料の免除制度を設けている。</p> <p>○ 効率的な貸館の手続きに向けて、貸館の受付業務の電子化を施行した(平成28年4月1日よりシステム稼働,平成29年度精算業務の仕様をカスタマイズ)。</p>	<p>文化振興事業については、社会的要請の高まっている当会館の指定管理者の役割を十分認識し、復興支援、人材育成及び地域大学連携を重点においた文化事業を実施している。</p> <p>貸館事業に関しては、先進館の事例を参考にしながら、有効な利活用方法を研究・検討し、施設予約管理システムやチケット予約販売システム(びあGetti)の導入により、手続きの効率化と利用者の利便性向上を図っている。平成29年度には精算業務の仕様をカスタマイズし、よりシステムの機能向上を図った。</p>	A	<p>震災復興をメインとする社会的要請に添えるべく、中核施設として文化芸術の創造と享受の場を十分に提供している。また、ITの活用や、障害者への対応改善等、利用者サービスの向上に意欲的に取り組んでいることが認められる。</p>	A
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	<p>平成29年度は「大ホール利用者アンケート」「会議室利用者アンケート」を実施することで、貸館に関する要望を把握し、改善に向けて検討している。</p> <p>≪主な要望及び苦情等≫</p> <p>① 大ホール</p> <p>○音響が整った美しく新しい会館を早く建て替えたい。</p> <p>○3階席までの階段が辛い。</p> <p>○開場まで待つ間、屋根がない場所まで列が伸びていたので暑い、寒い。</p> <p>○11トトラックが駐車できるようなスペースが欲しい。</p> <p>等の要望があった。</p> <p>② 会議室</p> <p>○窓口での施設利用手続きの際、職員によって対応に違いがあるため、改善して欲しい。</p> <p>等の要望があった。</p>	<p>平成29年度は「大ホール利用者アンケート」「会議室利用者アンケート」を実施し、サービス向上に努めている。</p> <p>利用者からの要望については、改善可能なものは予算を確保して、施設、設備を整備するよう努めており、また、指定管理者としての裁量を超えるものについては、とりまとめた要望書を年1回県主務課に提出し、改善を依頼している。</p> <p>また、苦情等については、苦情処理表を作成し、利用者に理解と協力を求めるとともに事務局職員に周知して改善に努めている。</p>	A	<p>苦情処理においては、状況の把握だけでなく、職員に周知して改善を図るなど、その反映に努めていることが認められる。また、「利用者アンケート」の実施により、利用者等からの意見を収集し、サービス向上に反映させるための検討を行うなど、適正な対応をとっていると認められる。</p>	A
⑦安全対策	<p>1 訓練等</p> <p>○平成29年6月14日(水)、12月13日(水)の年2回消防訓練を実施した。</p> <p>○一般県民を公募した「第3回避難訓練コンサート」を平成29年10月26日(木)に実施した(298名参加)。</p> <p>○新規採用職員に対し、危機管理マニュアル等を用いて、緊急時の対応について研修を実施した。</p> <p>○青葉消防署による救急救命講習を実施した。</p> <p>2 ソフト面</p> <p>○夜間土日祝日でも非常時に備えて、管理監督者が勤務する体制をとっている。</p> <p>○災害に備えて、帰宅困難者用のアルミブランケット(150枚)や乾パン(24缶×8箱)等を備蓄している。</p>	<p>震災以前より消防法で定められた避難訓練(年2回)を実施していたが、震災後は、震災の経験をより生かした内容とすべく、訓練の狙いを事前説明の上実施するとともに、実施後は、職員からのアンケート結果をもとにして検証を行い、スキルアップに努めている。</p> <p>また、「避難訓練コンサート」においては、事前リハーサルを繰り返して行い、課題を洗い出し、改善を重ねて本番に挑んだ。</p> <p>また、来場者に対しては、コンサート開始前に事業の趣旨を説明して、避難訓練に参加していただき、実施後は、参加いただいた他文化施設職員等と当館職員との間で意見交換の場を設け、ノウハウや情報の共有化に努めた。</p> <p>今後も、災害に備え、人員体制や設備の充実、安全対策について引き続き検討していく。</p>	A	<p>前年度に引き続き、避難訓練コンサートを実施し、管理者と利用者が一体となった実効性の高い訓練を実施しているほか、訓練結果を検証することで、その知見を職員や他の文化施設職員にまでフィードバックするなど、高い意識をもって安全対策を実施していると認められる。</p>	A
⑧県民の平等利用	<p>県民会館使用規定に基づき、会館の使用申請について、公益性の高い行事は優先して許可しているが、原則として受付の早い順に許可をしている。</p>	<p>会議室利用者については、従来より先着順による申請受付を行っているが、大ホール申込者については、受付開始日(各月1日)前より会館前に並び始める申込者が増加してきたことから、平成29年1月より大ホール受付のみ受付開始日に申込者と会館側との協議の場を設置し、併せて複数の申込者の希望日が重複し、かつ調整がつかない場合は、その場で抽選を行っている。</p>	A	<p>公共施設の管理者として利用者の平等・公平を意識して運営の改善に努めていることが認められる。</p>	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	個人情報については、個人情報保護規程及び実施要領を作成し、個人情報保護管理者を設置し情報の保護に努めている。個人情報の記載のある書類は、鍵付きの書庫やキャビネットに収納し、厳重に保管している。	個人情報の記載のある書類、電磁的記録については、持ち出さないことを徹底しており、また、保管場所についても鍵付きの書庫、キャビネットに保管しているため情報漏えい等の事故はなかった。	A	策定済みの個人情報保護規程等により、個人情報の取り扱いについては、適正に実施されていると認められる。	A
⑩利用実績	4. 施設利用実績のとおり。	利用率が大ホール、会議室ともに前年度を下回っている。 昨年度に、1月～3月という閑散期(利用率が低い期間)に長期改修工事による休館期間があり、今年度は該当期間が稼働期間となったことから、閑散期が加わったことにより相対的に利用率が低下したものと推測されるが、なおデータを精査することにより、原因を究明したい。	B	指定管理者の自己評価のとおり、改修工事による休館期間が稼働期間と重なったことが利用実績低下の要因として考えられる。改修工事による館内利用環境の向上を活かした魅力ある公演等、優れた鑑賞機会の提供に努め、利用実績の向上に取り組まれない。	B
⑪収支実績	5. 管理運営収支実績のとおり。	年度事業計画より赤字幅は縮小してはいるものの、なお2千万円を超える赤字を計上していることから、今後、鑑賞事業の赤字削減、助成制度の見直し、利用料金増収策の検討、人件費や会館管理に係る支出の節減などの対策が必要と応える。	A	年度事業計画より赤字幅は縮小しているが、鑑賞事業の赤字削減をはじめとして、事業費及び管理費について経費節減を図るほか、利用料金増収策の検討など、財務状況の改善に継続して取り組まれない。	A
⑫その他の取組	環境に配慮した会館の管理運営を実施している。 また、平成27年度から受動喫煙防止対策として、館内全面禁煙を実施している。	宮城県より「わが社のe行動(eco do!)宣言」の環境配慮実践事業者として認定を受け継続して環境に配慮した会館の管理や事業活動を実施している。 また、平成27年度から受動喫煙防止対策として、館内全面禁煙にしている。	A	環境配慮実践事業者として、環境配慮行動を通じて管理運営や事業活動を展開しているほか、引き続き受動喫煙防止対策に取り組むなど時代に即した取り組みに努めていると認められる。	A
総合評価		平成26年度から第3期目の指定管理を受け、新たな視点に立脚した安定的な継続運営を行った。震災の経験をもとに、より検討を重ねた安全管理、被災者支援等を行ってきたほか、観客を対象とした「避難訓練コンサート」を実施するなど、より安全・安心に配慮した貸館事業及び文化振興事業を実施することができた。 一方で、収支における赤字の計上や、利用率の低下などについては、今後、対策が必要であると考えられる。	A	指定管理における3つの基本方針を意識した事業を展開しており、施設・設備の老朽化が進む中であっても適切な利用環境の維持に努め、サービスの向上にも利用者の要望を反映しながら取り組んでいる。本県の拠点施設として、文化芸術の創造と発信に努め、かつ安全安心に配慮した施設運営が適正に実施されていると認められるため、引き続き効率的な管理運営とサービスの提供を期待する。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	平成26年度～平成29年度(第3期指定管理期間)までの累積赤字が6千万円を超えている実態をふまえ、今後、実態に即した委託料のあり方、施設利用料の増収対策、人件費の見直し、文化振興事業の収支改善が最大の課題となっている。 また、建物・施設の老朽化に伴い、利用者が安心・安全に利用するための計画的補修(県に提出している長期計画に基づく県施工)と適正な維持修繕費(共同企業体施工)の確保が大きな課題となっている。	昭和39年の開館から今年で54年目を迎えることから、施設や設備の老朽化等の問題を抱えている。このため、施設の修繕等を計画的に実施するとともに、今後のあり方について、様々な角度から検討を行い、関係者による具体的な議論を進める必要がある。 運営面においては、指定管理の基本方針である①震災復興②人材育成③地域・大学連携を軸とした事業展開を図る中で、収支のバランスを保ちながら、より魅力ある事業の実施が求められることから、県内の他の文化施設や文化団体等との連携など、より一層企画力を高めて取り組まれない。